



## はじめに

このマニュアルでは、Cisco Active Network Abstraction (Cisco ANA) の構成および機能について説明します。Cisco ANA Manage は、管理作業の簡易化と効率化を目的とした GUI クライアント アプリケーションです。Cisco ANA Manage を使用すると、Cisco ANA の設定や制御を行えます。Cisco ANA Manage では、Cisco ANA Registry (「Golden Source」) との連携により、設定情報の照会や修正が行われます。このマニュアルは、十分な専門知識がある管理者を対象としたものです。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「マニュアルの構成」(P.ix)
- 「表記法」(P.xi)
- 「関連資料」(P.xii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」(P.xii)

## マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章および付録から構成されています。

章/付録	タイトル	説明
1	Cisco ANA の概要	Cisco ANA のプラットフォームおよびアーキテクチャについて説明します。また、このマニュアル全体を通して使用される用語の意味についても簡単に説明します。
2	Cisco ANA Manage を使用する前に	Cisco ANA Manage の使用環境、および Cisco ANA Manage アプリケーションの起動方法と操作方法について説明します。
3	Cisco ANA の導入	ご使用の環境内に Cisco ANA を導入する際に必要となる手順について説明します。
4	Cisco ANA ゲートウェイとユニットの管理	Cisco ANA ユニットの追加方法、管理方法、および削除方法について説明します。
5	AVM および VNE の管理	AVM および VNE の定義方法および管理方法について説明します。

章/付録	タイトル	説明
6	グローバル設定の管理	クライアントライセンス、Cisco ANA データベース セグメント、「今日のお知らせ」(サービスの免責事項)、ポーリング グループ、保護グループなど、Cisco ANA Manage のさまざまなグローバル設定の定義方法および管理方法について説明します。
7	リンクの管理	ネットワーク内に属する 2 つのネットワーク要素の 2 つのポート間におけるトポロジカルなリンクの追加方法および削除方法について説明します。
8	ワークフロー管理タスクの管理	Cisco ANA Manage のワークフロー エンジンについて説明します。
9	ユーザセキュリティの管理：ロールとスコープ	ロールベースのセキュリティ メカニズムとユーザに付与されるスコープとを組み合わせる 3 次元セキュリティ エンジンが Cisco ANA に実装される方法について説明します。さらには、ユーザ名やパスワードの定義など、ユーザの管理作業についても説明します。
10	システムヘルスと診断	システムヘルス診断ツールの使用方法や、Cisco ANA システムの中で監視できるさまざまな対象について説明します。
11	イベントリスナーの管理	Cisco ANA Event Listener の概要と、ゲートウェイとユニットの双方で動作するようにこのイベントリスナーを設定する方法について説明します。
12	データベースのパージ	イベントがデータベースに保持される期間の設定方法、およびイベントをデータベースから自動でパージする方法について説明します。また、Cisco ANA の完全性サービスとその使用方法についても説明します。
A	システムセキュリティイベント	Cisco ANA EventVision の [Security] タブに表示されるシステムセキュリティイベントをリスト形式で列記してあります。
B	レジストリのバックアップと復元	レジストリおよびデータベースのバックアップ手順と復元手順について説明します。
C	ユーティリティスクリプト	VNE のバルク追加用スクリプトや Cisco ANA プラットフォームの再起動用スクリプトなど、Cisco ANA で使用できるユーティリティスクリプトについて説明します。
D	Golden Source レジストリ	Golden Source レジストリの詳細について説明します。
E	ハイアベイラビリティの使用	ユニットおよびゲートウェイに対して使用できるハイアベイラビリティオプションおよび保護オプションについて説明します。
F	VNE 永続性メカニズム	Cisco ANA における VNE の持続性メカニズムについて説明します。
G	Cisco ANA で使用するポート	Cisco ANA のさまざまなサーバアプリケーションおよびクライアントアプリケーションで使用するポートをリスト形式で列記してあります。



(注)

レジストリの変更は必ず、シスコのサポートの下で行ってください。詳細については、シスコの代理店にお問い合わせください。

## 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	用途
太字	コマンド、キーワード、およびユーザ入力テキストは <b>太字</b> で表記してあります。
斜体	マニュアルタイトル、新規用語、強調したい用語、および値を入力する引数は <i>斜体</i> で表記してあります。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	いずれか1つを必ず選択しなければならない必須キーワードは、全体を波カッコで囲み、それぞれを縦棒で区切って表記してあります。
[x y z]	いずれか1つを選択できるオプションのキーワードは、全体を角カッコで囲み、それぞれを縦棒で区切って表記してあります。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後に引用符は使用しません。引用符が使用されている場合は、その引用符も含めてストリングと見なします。
courier 体	システムにより表示される端末セッションおよび情報は <code>courier</code> 体で表記してあります。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を回避するための注意事項が記述されています。

## 関連資料



(注)

初版発行後、印刷物または電子マニュアルのアップデートを行う場合があります。マニュアルのアップデートについては、[Cisco.com](http://Cisco.com) で確認してください。

Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 に関して利用できるマニュアルは次のとおりです。

『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 User Guide](#)』

『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 Documentation Guide](#)』

『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 Installation Guide](#)』

『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 Release Notes](#)』

『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 Customization User Guide](#)』

『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 Technology Support and Information Model Reference Manual](#)』

『[Cisco Active Network Abstraction 3.6.7 VNE Reference Guide](#)』

Cisco Developer Community では、Cisco ANA 開発者向けのブログ、ウィキ、およびマニュアルを閲覧できます。詳細については、次の URL にある Web サイトを参照してください。

<http://developer.cisco.com/web/ana/home>

次の関連資料は、Cisco Developer Community から入手できます。

『[Cisco Active Network Abstraction Integration Developer Guide](#)』

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の追加情報については、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。このドキュメントには、新規版および改訂版を含めたシスコの全技術マニュアルのリストも記載されています。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。